

2019年8月7日

韓国生産拠点にてスペーサーテープ生産能力を増強します。

当社スペーサーテープを2.7倍使用する4Kテレビの普及率拡大(2019年3月期普及率40% ※当社調べ)により、今期(2020年3月期)の売上高は2016年3月期の2倍に伸長する予定です。今後も更なる4Kテレビの普及率拡大、スマートフォン向け製品の本格採用により、下図に示す販売数量拡大の見通しに変更ありません。これにより、昨今の国内外の経済情勢を熟慮し、韓国生産比率を6割から8割に拡大し、韓国生産拠点で初の2シフト体制を開始しました。



1. 韓国生産拠点増強の理由

- ① 半導体資材事業関連の優れた製造知識、経験を有する主要メンバーをPIM事業へ配置転換し、PIM事業の拡大を加速させる為
- ② 国内で深刻化する人手不足において、韓国での採用が容易である為
- ③ 加速する円高、ウォン安に対応する為、現地生産比率を拡大する為

2. 韓国輸出規制の当社ビジネスに対する影響

この度、対象となっている半導体の三材料については当社製品及び、当社顧客である韓国COFメーカーにおいて、使用は認められず、影響はないと考えております。

3. 円高ウォン・台湾ドル安による当社業績への影響

今期の販売数量は対前年比約15%増で計画中です。現在、受注は、計画以上に推移しておりますが、ここ数日の急激に加速する円高への対応策の1つが上記、韓国生産の比率拡大となりますが、為替計画レートの見直しとそれに伴う業績への影響は現在精査中です。

以上